

もり
館山市立 まなびの杜 房南小学校
神余分校

- ・ 房南小学校及び神余小学校が、小規模特認校として「目指すべき姿」をオープンスクール等における授業実践で示してくれたことを受け、それを体現できる名称をこれまで両校が大切にしてきた校名と組み合わせた。
- ・ 保護者や区長会から、「一地区ではなく安房（房総）の南というある程度広い範囲を包含する房南という名称を残してほしい。」といった意見や、一方では「新しい学校なのでそのままではない方が良い。」という意見があり、それらの意見を反映させることのできる名称とした。
- ・ 「杜」という言葉には、「人々が集うところ」を意味する「社（やしろ）」に通ずる意味があり、小規模特認校の特色である「子どもたちが主体的に学ぶ自由進度学習」や「自然環境を活かした探究学習」を実施する学校に、学びのために、子どもたちをはじめ、大人たちや地域の方々など、多くの人々が集まってくることをイメージしている。
- ・ 「杜」という漢字は、「木々が生い茂る場所、特に神社の森や特別な場所」を指すことが多い。房南地域には安房一宮の安房神社、神余地域には日吉神社と伝統の羯鼓舞など、歴史や伝統文化が多く存在するほか、古来から神聖な地域として崇められてきたという誇りを冠したいと考えた。

※正式名称

「館山市立まなびの杜房南小学校」 「館山市立まなびの杜房南小学校神余分校」

（通称「館山市立まなびの杜神余分校」）

＊両校の校歌・校章はそれぞれで使用する。

館山市立房南小学校 館山市立神余小学校 ⇒ 南房総地域初の小規模特認校として開校

《小規模特認校の3つの特色》

- ①豊かな自然環境を活かした体験からの探究学習
- ②児童が主体的に学び進める自由進度学習の導入
- ③市内全域を対象とした通学支援

●令和7年1月31日 小規模特認校開校準備委員会 第1回会議

館山市立小中学校再編計画、今後のスケジュール、小規模特認校の特色、校名の検討について説明。

●令和7年2月21日 小規模特認校開校準備委員会 第2回会議

校名案の選定方法を「開校準備委員会で選定する」に決定した。

未来志向的要因を考慮した校名とする。

●令和7年3月18日 小規模特認校開校準備委員会 第3回会議

未来志向的要因を考慮した校名案のほかに、地理的要因を考慮した校名案も複数選定した。

●令和7年4・5月 房南・神余小学校保護者、神戸・富崎・神余区長会へ説明

⇒「房南という名称を残してほしい。」

「新しい学校となるため、そのままではない方が良い。」

●令和7年7月4日 小規模特認校開校準備委員会 第4回会議

保護者・区長会で聴取した意見を報告し協議。

⇒「校名は房南小学校が良い。」

「特色のある教育を行う新しい学校なので、未来志向的要因を考慮した新しい名称が良い。」

●令和7年7月15日 小規模特認校開校準備委員会 第5回会議

校名案は、「館山市立まなびの杜房南小学校」

「館山市立まなびの杜房南小学校神余分校（通称：館山市立まなびの杜神余分校）」とする。

両校の校歌及び校章は、それぞれで使用する。